



# 11月の「図書館おすすめ絵本」です

栗盛記念図書館では、11月27日（日）10時より、「絵本ビブリオバトル」を開催します！おすすめの絵本を1人5分で紹介しあい、どの人の紹介した本がいちばん読んでみたくなったかを投票で決めるゲームです。参加希望者はお電話（42-2525）お待ちしております。

	書名	「わんわんハロウィーン」		分類	Eワ
	著者	高林 麻里 // 作	出版社	講談社	
	ハロウィーンによる、へんしんして、おかしをもらいに、さあ、でかけよう！何にへんしんしようかな？おかしいっはいもらえるかな？はじめてハロウィーンにであう、ちいさな子どものためのハロウィーン絵本。（所蔵：栗盛）				

## \* その他の新着絵本 \*

「ねずみさんのパンツ」	ねずみさんのパンツがなくなっちゃった。しろくまさんといっしょにパンツをさがしに行くことに…。あんなパンツやこんなパンツ、いろんなパンツが登場する、型抜きしかけ絵本。（所蔵：栗盛/田代）
「おふくさんの12かげつ」	むつきさん・きさらぎさん・やよいちゃんからしわすちゃんまで、12か月の名前が付いた“おふくさん”たちが、定番の行事や風物詩・旧暦の由来などを紹介する。12か月の色々なことが楽しめる行事絵本。（所蔵：栗盛）
「かずもう」	蚊の精とおとのさまが相撲をとるといふ、奇想天外ながらもユーモラスな物語。古典に親しむきっかけとなる1冊。狂言の筋書きをもとにした、子どもが読んでおもしろい作品を集めた「狂言えほん」シリーズ。（所蔵：栗盛/おおとり号）
「イライラのあらし」	「イライラのあらし」がきたら、どうしたらいいの？小さな風だったエドのイライラはどんどん大きくなって、やがて嵐となり街中を巻きこんでいき…。「怒り」の感情と向き合う絵本。（所蔵：栗盛）

	書名	「ごろんずっしりさつまいも」		分類	Eキ
	著者	いわさ ゆうこ // さく	出版社	童心社	
	さつまいものなえ、畑にうえよう！太陽のちからをはっぱにあつめて、ねっこにおくると、ずずんとねっこがふくらんで…？さつまいもの芽ばえからいもほりまでを繊細かつつよく描いた絵本。色々な種類のさつまいもや、他のいもも紹介する。（所蔵：栗盛）				

## \* その他の『秋』を近くに感じる絵本 \*

「めぐろのさんま」	お城暮らしのお殿さま。目黒へ鷹狩に出かけると、さんまを焼くにおいに気付きます。農家に無理を言って食べたそのさんまのうまいこと！お城に戻っても忘れられなくて…。落語絵本シリーズの6作目。（所蔵：栗盛/田代）
「りんごかもしれない」	テーブルの上のりんご。でも、もしかしたら、これはりんごじゃないのかもしれない。大きなサクランボの一部かも。何かのタマゴかも…。考える力があれば、世の中ははてしなく面白い。ひとつのりんごから始まる、発想えほん。（所蔵：栗盛/花矢/比内）
「からっぽのにくまん」	中身を詰め忘れられて、からっぽのままになってしまったにくまん。中身を求めてピザ屋さん、和菓子屋さん、カレー屋さん…。あちこちの店をめぐります。おなかが減りすぎてしぼんでしまったにくまんが駆け込んだ先は…？（所蔵：栗盛）
「おちばいちば」	さっちゃんが幼稚園で作ったどんぐりのお馬さんが、突然歩き出しました。追いかけているうちに、いつのまにかお馬さんの背中に乗っていたさっちゃん。着いた先は、たくさんの虫や動物たちで賑わう「おちばいちば」で…。（所蔵：花矢）